

事業者向け 児童発達支援自己評価表

令和6年4月1日公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	当事業所は教員住宅を改修して開所した経緯もあり、バリアフリーにはなっておりません。対象のお子さんを精神・知的の障がいをもつお子さんに限定し、バリアフリーではなくても安全面には十分配慮しております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在実施していませんが、必要があれば今後検討していきたいと思います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		職員の意向を反映し、事業所内研修の企画を充実させるとともに、職員が外部の研修会へ参加ができるように体制を作っていきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		アセスメントツールは利用開始時に独自の様式を利用し、その後更新されていない状況にある。当事業所として必要なアセスメントツールの見直しと、活用方法について検討をしていく。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援	<input type="radio"/>			

	内容が設定されているか					
⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動の後には振り返りを行い、次回のプログラムを作成しています。また、定期的にミーティングでも話し合っています。	
⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			子供の特性を踏まえ、個別活動の経験を積んでから、集団へ移行するなど、個々に応じた支援を行っています。	
⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			実施した内容や様子以外にも、次回に繋がる記録を心掛けています。	
⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		利用回数や間隔、欠席の関係等で、モニタリングが遅れることがあったため、注意していきます。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者が出席しています。出席できない場合は、子どもの状況をよく理解している指導員が参加します。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を支援を行っているか			○	建物の構造上からも医療的ケアや重症心身障害のある子どもをお受けしていません。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	同上
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			移行にあたっては、必要時、移行先の園との交流を支援の一環として計画することもあります。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			移行前の会議を通して情報共有に努めています。また、文書での情報提供も行っています。

	②6	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	②7	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状ではできていません。障害のない子供さんとの活動の場を増やしていけるよう、行政とも検討していきたいと思います。
	②8	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		協議会へは今年度初めて参加しましたが、地域の活動には参加できていません。今後、参加の形を相談して連携に努めてまいります。
	②9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	③0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	今年度、家族支援プログラムは実施できていません。
保護者への説明責任等	③1	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③3	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③4	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は1回実施しました。好評でしたので、機会を増やしていきたいと思います。

	③5	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③6	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		今年度からお便りの発行を始めました。定期的な発信までは至っていないため、内容や回数の充実を図ってまいります。
	③7	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	③8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③9	事業所の行事に地域住民を招待する			○	地域との交流はできていません。どのような

		等地域に開かれた事業運営を図っているか				形で参画いただけるか検討、相談することから始めていきます。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を行っているか	○			マニュアルは作成していますが、保護者の皆さんに十分認知されていないようですので、あらためて提示してまいります。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			すべてのお子さんに訓練を体験していただけるよう計画しています。実施は全員にできてはいませんが、より現実的な場面も想定して行っています。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食物アレルギーのあるお子さんに関して、保護者からの情報のみの把握でした。給食提供がないため現時点では指示書の確認までしていません。必要時対応してまいります。
	④⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	対象のケースが今年度はありませんでした。実施の際は委員会を中心に、十分な検討、説明、計画を立案してまいります。
	④⑯	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			